

※ご購入頂く前に、必ず最後までお読みください！

安全上のご注意・警告

1. バーネットクラッチキット装着は、確かな知識(メーカー発行のサービスマニュアルに基づく)技術をもったメカニック又は、それに相当する対象としております。なるべく陸運局認定工場で行付けを行って下さい。
もし、ご自分で取付けなされた場合は、陸運局認定工場で安全点検を受けて下さい。
破損又は、事故が発生する可能性があります。
2. 指定車種以外への装着は絶対に行わないで下さい。
3. 製品の加工・改造は絶対に行わないで下さい。
4. 各取付けボルトおよびナットの締め付けトルクは、必ずメーカーのサービスマニュアルをご参照ください。
5. 取付け後、走行中に異常(振動・異常音)を感じたら速やかに周りを確認し、安全な場所に停止して下さい。

バーネットクラッチキット 装着時の注意点

消耗品(ガスケット・オイル等)は必ず、新品をご用意ください。

装着に際して、下記の注意事項を守り、正しく装着して下さい。また、装着はクラッチ取付けの経験のある方が行って下さい。取付け技術の無い方の取付けで不都合が生じた場合、弊社では対応致しかねる場合があります。

- 1)クラッチを組む前に必ず、バスケット及びボスに段付き摩耗の無い事を確認して下さい。
もし、摩耗のある場合は必ず新しい物と交換して下さい。
- 2)クラッチプレートには表裏があります。組み付けの際、特に向きの指示はありませんが、重ねる際、ドライブプレートの向きは揃えて下さい。また、クラッチプレートには極わずかですが、ひずみがあります。重ねる上で、円周方向に回転させながらシックスネスゲージ等を使い、厚みが最小になるように組み合わせて下さい。『ニュートラルが出にくい』『引きずる』『クラッチがきれにくい』等の原因になります。
- 3)キットによってはクラッチプレートが薄いものと厚い物の2～3種類入っているものがあります。その組み合わせで厚みを調整して下さい。一般的に、ノーマルのフリクションプレートとクラッチプレートを全て重ねた厚み(サービスマニュアル等参照)と同等にすると良い結果が得られます。
- 4)装着の際、プッシュロッド部にアジャスターのある車両はサービスマニュアルに従って調整を行って下さい。2)と同様の症状が出る場合があります。
- 5)湿式クラッチのフリクションプレートは組み付ける前に、あらかじめエンジンオイルを塗布した上で、5～10分オイルになじませて下さい。
- 6)クラッチキットを組み込んだ直後は初期なじみの為、スラッジ等が一時的に多く出る事があります。クラッチ交換後のオイル交換は早めに行って下さい。
- 7)DUCATI等、乾式クラッチに装着の際は、フリクションプレートに水分がかからないようにしてご使用下さい。
(レーサータイプのスリット入りクラッチカバーと併用の際は十分にご注意ください)また、プッシュロッド部のOリングのヘタリによるオイルの流入に注意して下さい。
- 8)基本的にバーネットクラッチキットはレーシングクラッチの為、車種によっては上記の方法でも『クラッチのキレが悪い』『ニュートラルが出にくい』等の症状が出る場合があります。原因としては、バーネット製のプレートが純正よりも若干厚い場合が考えられます。街乗り等で使用する際、どうしても不都合である場合は、プレートを純正の物と組み合わせるなど、全体での厚みを調整して下さい。

詳しくは、(株)ダブルエムにお問い合わせ下さい……mail@wmpdt.co.jp